

波多悠也氏が3代目社長に就任 創業精神を引き継ぎ全国展開へ

中華麺とパスタの新商品を発表

(株)富士麺ず工房(岡山市北区下伊福本町1-41、電話086・254・4448)の3代目社長に波多悠也氏が就任した。前社長の波多伸司氏は会長に就任した。

波多新社長は岡山県出身。明星大学を卒業して同社に入社。製粉メーカーの技術室で1年間、麺についての知識や製麺技術を学び、一級製麺技能士資格を取得。これまでになかったオーダードライド受注を導入し、店舗の特性に見合う新しい



社長に就任した波多悠也氏

麺づくりに注力した。入社当時は5種類のみの販売だったが、今では100種類以上を開発。2002年からパスタ麺にも取り組み、「ハタフレスカ」として15種類の新商品を販売する。新社長就任記者会見で、6月1日「木」に同社オンラインショップで新発売する中華麺「十二麺体」(2食セット・税込1129円)と生パスタ「ハタヤリン」(1食セット・同1480円)を発表した。

同社は1947年に創業し、有数のラーメン県である岡山でラーメン文化を支えてきた老舗製麺店。波多社長は「食べるものがない時代に創業した初代の創業の精神を引き継ぎ、販路を全国に広げ、美味しい麺を届け続けたいと思います」と語った。